

2014年

No.100

発行者

社会福祉法人健康の森学園

発行責任者 施設長 真鍋 衛

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

すずらん



家畜を飼う

理事長 岡田 壽

古くから「黒いものなら阿哲において 牛と木炭(すみ)」とは「日本一」と言われてきました。多くの先覚者の努力によって作り出された黒毛和牛は、阿新地域の農家が深い愛情で飼育を続け、地域の代表的な産業へと発展してきました。

本学園では、地域の伝統である和牛の飼育を、平成五年から作業種目に取り入れ、子牛の生産を目的に取り組んできました。また、健康の森の豊かな自然を生かして、「平飼い」により約千羽の鶏も飼育しています。太陽の光が差し込み、自然の風が吹き抜け、自由に走り回ったり羽ばたいたりできる鶏舎と、発酵飼料を混ぜた自家配合の飼料により、安心・安全でおいしい卵の生産をしています。現在飼育している鶏は、赤たまごを生むボリスブラウンという品種です。さらに、牛や鶏の排泄物は、堆肥化して牧草づくりや野菜づくりに利用するなど、循環型農業にも取り組んでいます。

園生が日々取り組んでいる和牛や鶏の飼育管理は、飼育している動物の生命をあずかるという重い責任を持っています。例えば親牛、子牛それぞれに決められた種類と量の餌を与えることによって、親牛は元気な子牛を出産し、子牛はすくすくと成長します。握りこぶしほどの生まれたてのひなに温度管理をしながら水や餌を与え、産卵できる若鶏になるまで大切に育てていきます。三百六十五日、一日も休むことなく配合飼料や干し草づくり、給餌・給水、牛舎や鶏舎の掃除、卵取り、卵の販売などたくさんの作業を、支援学校の園生も含め、班員全員が協力しながら、根気強く取り組んでいます。

本学園での訓練を修了した後、ここでの経験を生かして、地域の畜産関係の事業所に就職している人もあります。

家畜を飼育するという仕事は、生命の尊重や思いやりの心を育てるとともに、働くことの大切さや働く喜びを実感できる貴重な場となっています。本学園の自慢の活動として、さらなる充実を願っています。

第14回岡山県 障害者スポーツ大会

第14回岡山県障害者スポーツ大会が行われ、学園からフライングディスク、陸上競技、卓球、ボウリング、フットベースボールに多くの利用者が参加しました。金メダル13個、銀メダル8個、銅メダル8個を獲得することができました。



田植え祭

5月23日「田植え祭」が行われました。健康の森学園の利用者、職員、保護者、近隣施設、地域の方々約300名で田植えを行いました。晴天の下、今年は、共生高等学校の留学生も初めて参加され、楽しく田植えすることが出来ました。

また、田植え後、みんなで昼食を食べ、交流を深めました。



すずらん祭り

6月8日、すずらん祭りが哲多町で行われ、施設から出店しました。卵、花の苗、乾燥椎茸、ポン菓子などを職員、利用者で販売しました。また、保護者にボランティアとして参加してもらい、販売を手伝ってもらいました。



岡山県G・H C・H入居者 交流会及び世話人等研修会

7月12・13日に岡山国際ホテルで入居者交流会及び世話人等研修会が行われ、31名が参加しました。入居者の人は、1日目はカラオケ、ボーリング、バストライプを楽しみました。また、ナイトセッションでは、ご馳走を食べ、カラオケ、ゲームで大いに盛り上がりました。

2日目は、グループワークで他のG・Hの人と意見交換をしました。初めて参加した人も多く、「楽しかった。来年も参加したい」といった声が出ていました。



平成26年度手をつなぐ育成会 岡山県大会（総社大会）

8月31日に手をつなぐ育成会岡山県大会（総社大会）が総社市総合文化センターにて開催されました。

「誰もが安心して豊かに暮らせる地域福祉の充実」を大会テーマに障害者千人雇用と題して片岡総社市長の講演や地元総社市の育成会関係者の皆さんから平素の実践に基づく提案があり、シンポジウムがとて盛り上がりました。

各県・各市町村において、それぞれの地域の限られた財政力や社会資源などにより、福祉サービスの格差があるように見受けられ、こうした現状を踏まえ育成会が率先して地域の自治体や地域関係者の理解と協力をいただき、地域で安心して生活が送れるように尽力してもらいたいと思いました。



夏の集い

8月9日双葉会行事による夏の集いが、台風の影響もあり、運動機能訓練棟（体育館）で行われました。施設と学校の保護者を中心となり、焼きそば、焼き鳥、フライドポテト等を販売しました。

また、カラオケ大会や盆踊りが行われ、学園生、保護者、職員、地域住民の交流の場となり、楽しい夏のひとときを過ごすことが出来ました。



運動会

晴天の下、9月20日に第24回健康の森学園運動会が開催されました。施設は、保護者と共に綱引きを行ったり、施設利用者によるリレー競技、大玉送りの競技に取り組みました。紅白対抗による応援合戦では、施設利用者の団長を中心に振り付けを考え、明るく楽しく元気に踊りました。

また、田植え後、みんなで昼食を食べ、交流を深めました。



全国椎茸品評会で3位入賞

平成26年度全農乾椎茸品評会が6月13日埼玉県久喜市で行われました。5月の岡山県大会で1位(林野庁長官賞)・4位(キノコセンター理事長賞)を受賞した健康の森学園の乾椎茸2箱も全国大会に出品され、今年度は大葉厚肉の部で過去最高の3位(全農会長賞)を受賞しました。昨年度に引き続き2年連続全国大会受賞に就労継続支援事業所のみなさんの喜びも大きく、さらに上位入賞を目指したいとの気持ちを新たにしました。

岡山県知事を表敬訪問

今年度の乾椎茸全国大会第3位受賞を伊原木知事に報告するため、8月5日県庁を訪問しました。知事からは「仕事をさせられているのではなく、障害を持たれた方も自分の仕事に誇りを持ち取り組み、その成果がこのよう賞となったことは素晴らしいこと。これからも大変なことがたくさんあるでしょうが頑張ってください」と激励の言葉を頂きました。



相談支援事業所の新設について

平成26年4月より、健康の森学園相談支援事業所を開設し、相談支援専門員を配置して皆様の相談をお受けしています。平成24年より「福祉サービス」を利用する際には「サービス利用計画書」が必要となりました。皆様の生活がより良いものになるよう一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。面接、電話、メールなどお気軽にご相談下さい。



職員研修

9月24日に第三者委員会委員長の和氣弘宗さんより「そのまんまで幸せに」という演題で講演がありました。苦の原因は、自分の思うようにならないためである。相手のことを思えば、腹は立たないが、期待すると上手くいかない時、腹が立つ。など話して頂きました。相手のために尽くすことの大切さを学ぶことが出来ました。



ホームページリニューアル

11月中旬よりホームページのリニューアルを予定しています。これまでの障害福祉サービスにかかる情報発信に加え、各事業所が実施している支援の取り組み等を分かりやすく丁寧に発信してまいります。



グループホーム新設について

平成26年3月より、新見市内に女性のグループホーム「はびねす」を新設しました。現在は2名の利用者が生活をしています。



今後の行事予定

収穫祭と作品展(11月1日)
マラソン大会(12月5日)
クリスマス会(12月)
成人式(1月)
学習発表会(2月14日)
退所式(3月)

入所・退所された利用者

入所者

岡本 尚大さん (4月) 支援学校より
仁田衣梨奈さん (4月) 支援学校より
栗原 昌也さん (4月) 支援学校より

退所者

石我 拓さん (4月) B型事業所へ
井上 明美さん (4月) 就職
三牧 大将さん (5月) 就労移行
本田 良弘さん (5月) B型事業所へ
田畑亜希子さん (6月) A型事業所へ

新任職員紹介

大原嘉則



今年度から畜産班でお世話になっていきます。以前にも他の施設での経験もありますが、初心に戻った気持ちで担当利用者さんをはじめ、皆さんと日課に取り組んでいくつもりです。

忠田健人



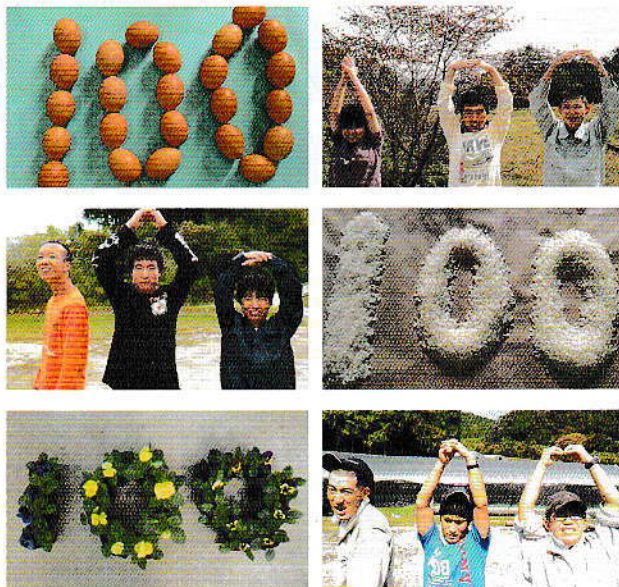
森のすがすがしい空気の中で働かせていただいています。利用者の皆さんが、一日の作業を「充実感と誇り」を持ってできるように「心掛けています」。

サービス向上委員会

平成25年度 苦情受け付け状況

- ◎他の利用者に対するもの……7件
 - ・配膳当番時、仕事をしてくれない
 - ・気の合わない人がいるので配膳当番の班を替えて欲しい
 - ・ちよつかいをだされてこまる
 - ・時間を守らず、週番の仕事をしない
 - ・無視された
 - ・ゲームを借りていき、返してくれない
 - ・何か物を買ってきて、と言われた 等
 - ◎職員に対するもの……8件
 - ・職員に傷つくことを言われた
 - ・もう少しゆっくり話を聞いて欲しい
 - ・言葉遣い、態度を直してほしい
 - ・職員が一人の利用者とだけベタベタしていておかしいと思う 等
 - ◎寮内の環境……4件
 - ・ドアが閉まりにくいので直してほしい
 - ・部屋の中にタバコの臭いが入ってくるので、吸う場所を替えて欲しい
 - ・BS、スカパーが見たい 等
 - ◎グループホームの環境
 - ・大声を出し、うるさい人がいる
 - ・嫌がらせをされた
 - ・生活支援員が部屋に入り浸って本人がゆっくり出来ない(保護者より) 等
- ※受け付けた苦情については、それぞれに話し合って解決したり、改善したりすることができています。

広報誌「すずらん」100号記念



編集後記

8月に神社にお礼参りに行った際、神主さんが、うちの息子に「私は神様を見たことがあるが、君は神様を見たことがあるかい?」と聞いた。息子は、見たことがないと答えると神主さんは、「君も見たことがあるよ。神様は、太陽、雨、風、森、土、水など私たちが生きていく上で必要な自然なんだよ。」と言った。だから神様にお願ひするのではなく、神様に感謝するのだと神主さんの言葉が心に深くひびきました。

健康の森学園の豊かな自然の中で、利用者と共に作業・生活出来ること、そして多くの方の関わりにより、この広報誌100号が迎えられたことに感謝します。